

令和2年度事業報告

はじめに

令和2年度は年度当初に予想された定年延長の動きに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大による「緊急事態宣言」の発令等、日本経済の急激な落ち込みの影響を大きく受け、契約金額では昨年度より4,700万円程減少の530,477,651円となりました。業績の落ち込みの主な理由としては、就業先の休業による仕事の減少、各種イベントの中止による影響、就業時間の短縮による減少、就業自体の打ち切り等様々ですが、全般にわたり影響を受けました。令和2年度の事業計画で計画した事業推進に向けた各種取組についても未だ収束しない新型コロナウイルスの余波により、ほとんどが実施できずに終わりました。

会員数については、計画していた市内全地区での入会の地区説明会をすべて中止した結果、昨年度より27人減少の990人となりました。また、求人に関しては、各事業所からの求人の激減により約半分程度に落ち込みました。

こうした中、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を最優先事項と捉え、定時総会の縮小開催や講習会等の中止の他、理事会等大きな会場での開催、事務局職員の出勤を一部在宅にしたり、飛沫防止のためのアクリル板の設置や体温測定器を設置するなどの対策を実施するとともに、会員一人一人が体調不良等の際、どの様に対応するかをわかりやすく表した「新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」を全会員に配布しました。

また、永年の課題であった草刈作業中の事故撲滅のために「草刈作業の安全マニュアル」、「飛石事故の対策」を作成し、安全就業に向けて取組みを開始しました。

さらに、契約金額が減少する中、経費削減にも取り組み、外部委託していた印刷業務を事務局内で印刷したり、事務用品の仕入れ先の変更によるコストダウンにも注力しました。

以下、詳細について、令和2年度事業実施計画を基に報告します。

1 会員拡大への取組

会員拡大はシルバー事業を推進するうえで重要であり、これまで実施してきたハローワーク桑名での就業相談会、ORITURU 新春号の市内全戸配布等に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、市内全地区での地区説明会については実施を見送りました。

(1) 入会促進への取組

- ① 当初計画の市内全地区での地区説明会については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため実施を見送りましたが、年度終盤に求人のある健康増進施設について就業会員募集のため、急遽、多度地区、長島地区、大山田地区限定での地区説明会を実施したところ、47名の参加で33名の方が入会しました。
- ② ハローワーク桑名での就業相談会を毎月第2水曜日に実施したところ、34人の相談があり、その内13人が入会説明会に参加し9人が入会しました。入会者数は昨年度と同数でした。
- ③ 新入会員拡大報奨制度による新入会者の紹介を様々な場で会員へ呼びかけました。新入会員135人の内、会員からの紹介者は20名と14.8%が会員からの紹介でした。昨年度は紹介者23名で新入会員に占める割合は17.6%と年々減少しています。
- ④ 昨年度に引き続き、会員募集案内を掲載した会報誌 ORITURU 新春号を市内全戸配布したところ、1月にはそれまでの月で一番多い17名の方が入会しました。

(2) 退会抑制への取組

- ① 毎週金曜日、事務局内での打合せを行い、未就業会員の情報を共有して会員への就業紹介に結びつけました。
- ② 互助会活動へ助成することを計画していましたが、コロナウイルスの影響により活動ができなかったため、助成を見送りました。
- ③ 80歳以上で会員2年以上在籍のゴールド会員の方は会費を半額としました。112の方が該当しました。

2 事業の普及啓発発動

シルバー人材センター事業を広くPRするために各種団体が開催するイベントへの参加、地区組織によるボランティア活動を計画していましたが、こちらもコロナウイルスの影響から実施されませんでした。しかし、ホームページの充実、シルバー朝市の実施により事業の普及啓発に取組みました。

- ① くわな商工まつり、多度すこやかフェスタ、長島福祉健康まつりに参加し、花菖蒲の会による手作り品の販売及び会員募集チラシの配布を行い、シルバー事業の周知を図る計画をしていましたが、コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止となりました。
- ② 地区組織によるブロック別のボランティア活動については、多人数になることから地区委員会議において中止決定しましたが、一部の地区において感染対策を行い少人数で実施されました。
- ③ ホームページに就業内容がわかりやすいように会員の就業中の写真を取り込むなどして、市民に活動内容が理解しやすいようにしました。

- ④ 毎週水曜日にシルバー朝市を事務所駐車場、又は事務所玄関で開催し、地域の方へのシルバー事業の周知に努めました。さらに、品数が多い時には桑名市役所での販売を行い、市職員への周知にも努めました。
- ⑤ 市の施設、ハローワーク桑名等公共施設に会報誌 ORITURU、事業紹介用チラシを設置し、シルバー事業の啓発に努めました。

3 就業拡大への取組

今年度当初から新型コロナウイルスの影響等により求人依頼がほとんど来ない状況が続いています。このような中、役員及び職員により新規の企業からの求人拡大を目的として約 180 社を訪問し、企業からの求人を増やす取組を行いました。また、例年通り、職員による「年末ご愛顧訪問」を実施し、既存就業先からの就業拡大に取り組みましたが、すぐには求人増には繋がらず、今後の継続課題となりました。

- ① 昨年 10 月に役員 2 名一組で新規の企業 109 社を訪問し、シルバー事業の説明を行うとともに求人依頼しました。また、職員においても 11 月に新規企業 65 社を訪問しました。
- ② 職員により既存就業先 123 社を対象に「年末ご愛顧訪問」を実施しました。訪問時にはアンケートを実施し、74 社からの回答があり、その内 92%の就業先から満足という回答を得ました。
- ③ 毎週金曜日に職員による打合会を開催し、未就業会員の情報を共有するなどして会員への就業先紹介に努めました。
- ④ 会員への就業情報の提供を事務局通信、事務所での掲示、ホームページでの掲載の他、IT 機器を使った情報提供(smile to smile)を試みました。
- ⑤ 昨年度実施した会員調査結果から、センターへの就業開拓してほしい仕事として軽作業を希望する会員が多く、役職員で実施した新規企業への訪問では軽作業を中心とした就業開拓に取り組みました。
- ⑥ 職員が定期的に既存就業先を訪問し、就業先との情報交換の中でシルバーへの要望、会員の就業状況等の把握に努めるとともに、新たな仕事の発注及び発注業務の拡大がないか情報収集に努めました。

4 安全就業への取組

令和2年度の事故件数は、昨年度の 33 件から 27 件と 6 件の減少となりました。事故の内容を分析すると月別発生件数では 5 月と 8 月から 10 月にかけて多く発生し、通勤途上・就業中の分類件数では通勤途上が 3 件、就業中が 24 件と就業中での事故が多くを占めました。また、傷害事故が 9 件、物損事故が 18 件で、職種別事故件数では除

草作業中の事故が 8 件、その内刈払機による飛石事故が 6 件と事故件数の 22%を占めました。安全就業委員会では以前から飛石事故の対策について協議してきましたが、3 月に草刈作業の安全マニュアルとともに飛石事故の対策マニュアルを作成しました。今後、草刈作業就業者への周知を図っていきます。また、新型コロナウイルス感染症対策においても委員会で対策マニュアルを作成し、会員への配布を行ったところです。

- ① 安全就業委員による自主パトロールを 8 月から 12 月にかけて計 5 回、草刈作業現場、剪定作業現場で主に事故発生現場を中心に計 10 ヶ所で実施しました。また、7 月の安全・適正就業強化月間では委員及び職員が 3 班に分かれ、草刈作業現場、剪定作業現場、広域清掃事業組合における可燃ごみ・プラスチックごみ受入作業現場をパトロールしました。それぞれのパトロールではチェックリストにより作業状況を評価し、指摘事項を作業員へ伝えました。
- ② 12 月に 2 回に分けて令和元年 10 月以降に入会した方、センターの近隣に住む方で自転車通勤の方を対象に「高齢者の感染症予防について」「高齢者の交通安全活動」をテーマに、市保健師、桑名警察署警察官を講師に安全研修会を開催しました。
- ③ 安全かわら版への新型コロナウイルス感染症対策情報、事故発生状況、交通安全の啓発情報、ヒヤリハット体験事例などの掲載により、会員の健康増進に向けた情報提供、会員の安全就業に向けた情報提供に努めました。
- ④ ヒヤリハット体験事例を募集したところ 6 件の報告がありました。報告内容を安全かわら版に掲載し、安全に対する意識の向上に努めました。また、昨年度に引き続き、7 月から 10 月にかけて交通安全に向けた県・県警等が主催する「無事故・無違反チャレンジ 123」に 28 組 84 人が参加し、ほぼ全員が達成しました。
- ⑤ 事故が発生したときには、事務局長が担当職員と事故現場に急行し、事故発生状況を把握するとともに事故原因を検証し、安全対策を協議しました。結果については関係役員、関係会員へ通知したところです。また、特に事故件数が多かった職種の草刈業務就業会員代表による会議を開催し、事故の削減に向けて協議しました。
- ⑥ 三重県シルバー人材センター連合会主催の三重県安全就業推進大会、安全・適正就業パトロールに安全就業委員会委員及び職員が参加し、安全に関する知識の向上を図ることを計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止となりました。

5 組織の活性化への取組

組織の活性化に向けて地区組織によるボランティア活動、講習会等イベントの開催、ポイント制の実施等の計画をしていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

め実施を見送りました。しかし、組織機能の強化のために設置した事業推進委員会において、新型コロナウイルスの影響下でもできることを計画の中で検討し、実施したところでは。

- ① 事業推進委員会の「入会促進・就業開拓部会」では、地区説明会は実施を見送りましたが、新規就業開拓、ご愛顧訪問、会報誌 ORITURU 新春号の発行に取り組みました。「満足度アップ部会」では、講習会は実施できず、喫茶オアシスでの絵手紙教室の実施となりました。また、「IT部会」では、ホームページの充実に努めました。
- ② 地区組織活動としては、コロナ対策を実施したうえで一部の地区で、懇談会、ボランティア活動、班長会議を実施しました。
- ③ 会員の満足度向上に向けて、6月から毎月、講習会等イベントの実施を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施を見合わせました。
- ④ 会員の総会及びボランティア活動等への参加促進を目的にポイント制の実施を計画していましたが、参加者限定の総会実施となったことからポイント制実施を見送りました。
- ⑤ センター1階の「喫茶オアシス」において、花菖蒲の会の活動、絵手紙教室を毎月定期的に開催し、会員が気軽に集まれる会員の交流の場として活用しました。
- ⑥ 会報誌 ORITURU を年3回、事務局通信を年6回奇数月に発行し、センターから会員へ各種情報を提供することにより、会員とセンターとの情報共有に努めました。
- ⑦ 互助会と連携し、魅力あるシルバーに向けて、クラブ活動を中心とした互助会活動について協議しました。